

浜 辺 で 夏 を 満 喫

はま 第25回あつま海浜まつり



ステージでは歌謡ショー、よさこい、フラダンス、太鼓などが出演し、まつりに花を添えていました



やぐらの上からまかれるもちを拾う来場者。実行委員の西谷芳則さんは「今年は例年以上に人が多いかも」ともちをまく



信成弘志さん(桜丘)はホッキ貝のつかみどり初挑戦。目標の10個をひろいニッコリ。「来年ももちろん参加します!!」



むかわ町穂別からポニーばんばに出場した長谷川くん(小学6年)は、大人にまじって競技に参加し見事な手綱さばきを披露

第25回あつま海浜まつり(同実行委員会主催・鈴木英毅委員長)が7月26、27日の両日、浜厚真海岸を会場に行われました。鈴木会長が「自然に恵まれた厚真で夏のひとときを楽しんで」とあいさつ。両日とも天候に恵まれ、涼を求めに訪れた家族連れで会場はにぎわい、さまざまな催しを楽しんでいました。また、厚真前浜で獲れたホッキ貝を使ったホッキカレーやツブ焼きなどを販売する出店には行列ができ、厚真の海産物に来場者は舌鼓。

会場にはさわやかな潮風が通り抜け、子どもから大人まで北海道の短い夏を満喫していました。



小学校低学年以下対象のスイカ割り。スイカにタッチすればまるごと1個が当たるとあって棒の振り加減が大事



天気もいいこともあり子どもたちは波打ち際で足を濡らし気持ちよさそう。サーファーもいっぱいでした



海浜まつり名物「ホッキ貝のつかみどり」では、大人と子どもの部に分かれて行われ、参加者はびしょ濡れでもなんのその！札幌市からきた荒川姉妹(ともに小学生)は2人で50個以上拾い、付き添いの家族を喜ばせていました



海浜まつり会場では、第5回ポニーばんば大会(同実行委員会主催・早坂清委員長)が遠くはサロマ湖町や旭川市から45頭のポニーが集まり行われました。景品が当たる勝ち馬予想では、たくさんの観客がひいきの馬に声援を送っていました